

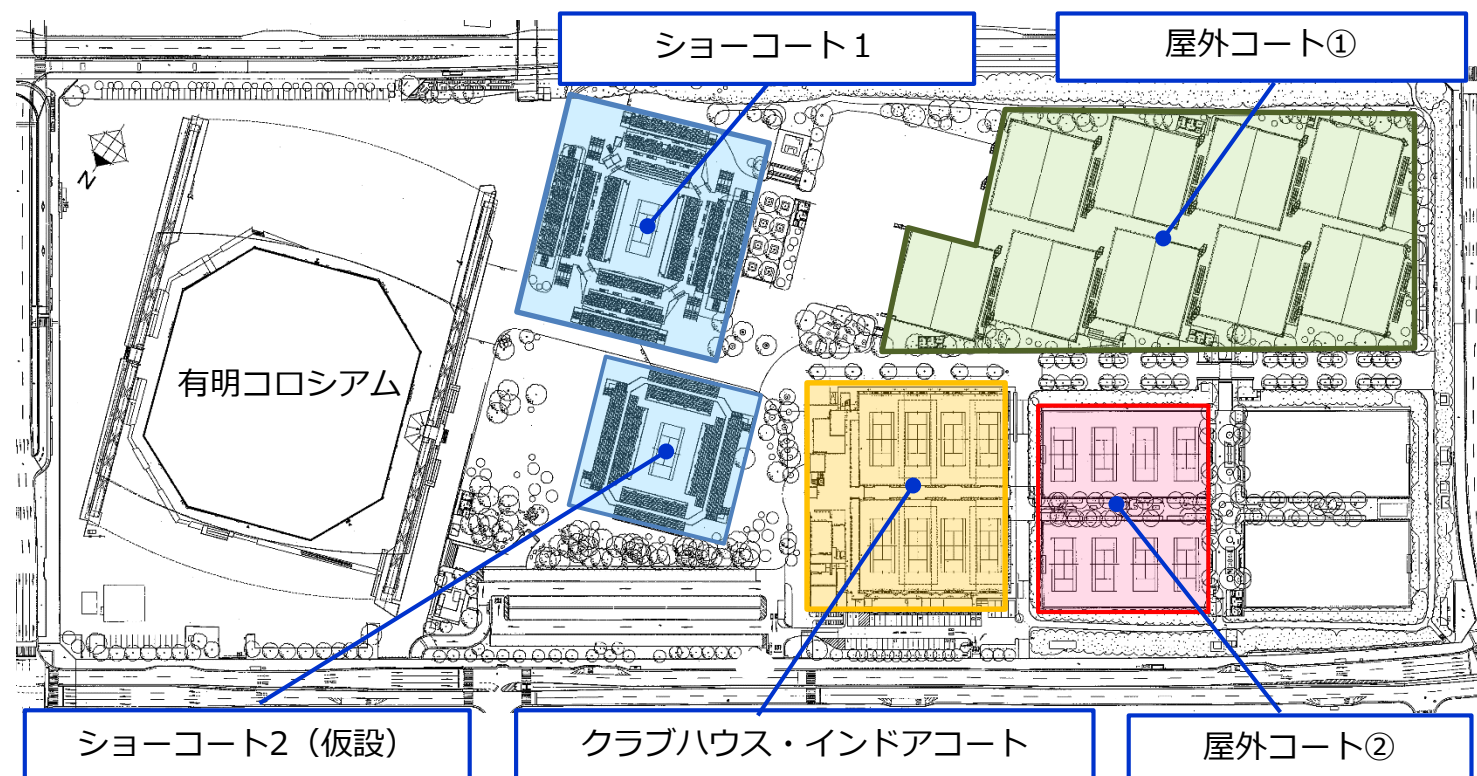
## ■ 施設概要（改修前）

- 計画地：有明テニスの森公園（昭和58年開園）
- 施設概要：
  - ・ハードコート / 32面
  - ・砂入り人工芝コート / 16面
  - ・有明コロシウム / 1棟（1万人収容）
  - ・クラブハウス
  - ・芝生広場

## ■ 整備内容（改修後）

- ・ショーコート1 観客席（恒設3千席、仮設2千席）
- ・ショーコート2（仮設） 観客席（仮設3千席）
- ・クラブハウス・インドアコート 屋内コート / 8面
- ・屋外コート① ハードコート / 9面
- ・屋外コート② ハードコート / 8面

※有明コロシウムは、施設の老朽化に伴う改修を実施



## ■ 木材利用について

- 木材の使用量（見込み）
  - ・クラブハウス・インドアコートの屋根の構造用集成材として、約430m<sup>3</sup>を使用。
  - ・その他、各施設の内装に使用。
- 木材調達方針
  - ・本工事で使用する施設本体の仕上用の木材及び型枠用合板は、FSC、PEFC、SGECによる認証材または調達条件の確認が行われた木材を使用。
- プロジェクト認証について
  - ・クラブハウス・インドアコートの屋根の構造用集成材について、工事現場で認証材を適切に使用していることを第三者から認証（プロジェクト認証）を受ける取組も実施。

## ■ 工期

平成29年10月から平成31年7月まで

# 大会後 イメージ

平成30年1月25日  
東京都オリンピック・パラリンピック準備局



※ 現時点の外観であり、一部変更となる場合がある

## 1 東京2020大会の木材調達基準

### (1) 概要

- 組織委員会が調達する物品・サービス等に使用される木材は、「持続可能性に配慮した調達コード」及び「持続可能性に配慮した木材の調達基準」が適用される。
- 国際森林認証機関FSC、PEFC、SGECによる認証材は、適合度が高いものとして原則認められている。

団体名	創設	概要	加盟国数	森林管理認証面積 (ha)		CoC認証件数 (件)	
				全世界	国内	全世界	国内
FSC (エフエスシー)	1993年	森林認証制度の草分け	80カ国	1億9500万	40万	約3万	1,137
PEFC (ピーイーエフシー)	1999年	小規模森林所有者に配慮	37カ国	3億375万	—	約1万	204
SGEC (エスジェック)	2003年	日本で創設された認証制度で2016年6月にPEFCと相互承認	—	—	166万	—	572

### (2) 認証種別

#### ①森林管理認証

森林を適正に管理している森林管理者等が取得するFSCやSGEC等の認証

#### ②加工・流通 (CoC) 認証

認証森林から伐出された認証材と他の木材を適正に分別管理している製材、加工、流通を行う事業者が取得するFSCやSGEC等の認証

## 2 都の取組状況

都は、大会関連施設で「東京の木多摩産材」を提供できるよう、認証の取得支援を平成28年度から実施

### (1) 認証取得費用 (初回審査料等) 助成

森林管理者や木材加工流通事業者等が、認証を取得する際にかかる経費 (初回審査料等) を助成

### (2) 認証取得支援

認証を取得する際に必要なコンサルタント費用の助成

### (3) 認証維持支援

維持費用 (定期審査料、更新審査料、年間公示費用) の助成

## 3 認証実績

### (1) 森林管理認証

森林管理者や森林所有者が都内森林で取得した認証  
件数累計5件 (内訳 SGEC 2件、FSC 2件、SGEC+FSC 1件)  
合計面積 1,819ha  
(内訳 SGEC 1,047ha、FSC 757ha、SGEC+FSC 15ha)

### (2) 加工・流通 (CoC) 認証

多摩産材を扱う原木市場、製材所、加工・流通事業者が取得した認証 (他県を含む)  
件数累計24件 (内訳 SGEC12件、FSC1件、SGEC+FSC11件)

※SGEC+FSC 両方の認証を取得した場合

## 4 課題

- 組織委員会等の需要に応えられる多摩産材製品を扱う加工・流通事業者の掘り起こしが必要